

IoT、ドローン、ウェアラブル端末を救急医療の現場に！

「災害と救急に立ち向かう最先端テクノロジー」を
テーマにしたシンポジウムを2月8日東京にて開催

一般社団法人 救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会

2017年1月31日（火）

一般社団法人 救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議（理事長：稲田悠樹、略称：EDAC）は、総務省のIoTサービス創出支援事業に採択された、「救急医療・災害対応におけるIoT利活用モデル実証事業」の成果を広く知っていただくために東京において「災害と救急に立ち向かう最先端テクノロジー」をテーマにしたシンポジウムを、2017年2月8日（水）に開催いたします。

記

【開催概要】

<1. 日時>

2017年2月8日(水) 13時30分～16時30分

<2. 会場>

機械振興会館(東京都港区芝公園 3-5-8)

<3. 参加者>

関東近郊の自治体職員、消防・医療関係者、企業など約100名程度

<4. テーマ>

救急・災害時における最先端テクノロジーを活用した『命を救う』
先進事例からみる2020年日本の未来

<5. タイムスケジュール>

13:00 開場

13:30 主催者あいさつ

13:40 招待講演「熊本地震における災害医療の取組み」(20分)

熊本県 医療政策課 内田 公彦

14:00 総務省『IoT サービス創出支援事業』実証成果報告
「IoT、ドローンがつなぐ救急・災害時の近未来日本のカタチ」(20分)
EDAC 副理事長 兼 最高経営責任者 円城寺 雄介

(小休止・会場転換)

14:30 パネルディスカッション
(進行)EDAC 副理事長、総務省地域情報化アドバイザー、佐賀県職員
円城寺 雄介
○事例発表(各 10 分)※テーマや発表順は調整中
(1) 「身近な IoT プロジェクト」の推進について
(総務省情報流通行政局情報流通振興課 企画官 渋谷 闘志彦)
(2) 災害医療での先進技術活用
(杏林大学 医学部救急医学教室 加藤聡一郎 山口芳裕)
(3) ドローン最新技術動向
(EDAC 理事長 稲田 悠樹)
(4) 新時代の 5G 通信技術が変える未来社会
(総務省 総合通信基盤局 電波部 電波政策課
情報通信政策総合研究官 片桐 広逸)
(5) 先端技術の身近な医療での活用
(岐阜大学医学部附属病院 林 賢二)
(6) 都市 OS が切り拓く新しい都市のかたち
(九州大学共進化社会システム創成拠点事業化推進グループ
学術研究員 松尾 久人)

15:40 登壇者によるディスカッション(40分)

16:20 まとめ

16:30 終了

本件に関する問い合わせ、取材申し込み先

シンポジウム参加者様については、事前受付制とさせていただきます。参加希望者様、取材・掲載ご希望のメディアは、下記フォームお問合せ下さい。

【申込み URL】 <http://goo.gl/FD1N09>

一般社団法人 EDAC 事務局 担当許斐（このみ）宛
TEL 03-6733-3033 / Mail info@edac.jp

以上

【団体概要】

団体名 : 一般社団法人 救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会
(略称 EDAC)

所在地 : 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ 205 号 リアルグローブ内 EDAC 窓口

理事長・最高現場責任者 CGO : 稲田 悠樹

電話 : 03-5413-7398 メール : info@edac.jp

URL : <http://www.edac.jp/>